

## 発表テーマ：キャリア支援教育としての人材育成と輩出

### ◎テーマの選定にあたって

#### □大学の役割は何だろうか？

高等教育と研究の場であること、社会（地域）貢献や有能な人材の育成・輩出など様々な意見が出たが、いま大学に求められていることを議論した結果、社会から優れた人材育成と輩出を求められている点や、多くの保護者や受験生が「就職率」に高い関心を持っていることから「キャリア支援」について討議を進めた。

#### □それに応えるために大学がすべきことは何か？

ではキャリア支援として大学は何をすべきか。「大学の役割」で出た意見を総括し、高等教育機関であることを踏まえ専門性の高い知識を持ち、なおかつ社会で活躍・貢献できるような企業において即戦力となる人間力（自主性・適応力・コミュニケーション能力等）を備えた学生を育成ならびに輩出することを目標とした。

### ◎現状の考察と問題点の深堀

#### □現状と問題点について

大学はキャリア支援のため設備、講座、相談会など環境は整えているが、利用が意欲のある学生のみと限られ、多くの学生の就職に対する意識が伴っていない現状が見受けられる。

しかし学生のみならず大学もまた受動的な体制で学生を迎えている。

また、卒業後就職してから短い期間で見た離職率の高さからも、就職後の学生と企業とのミスマッチは、在学中に就職に対する意識が伴わず納得のいく就職活動をしなかったことや社会や企業に対する適応力や柔軟性などの欠如が原因のひとつになっていると考えた。

#### □実現するための取り組み

現状を改善するためには、学生が自身のキャリアプランをしっかりと見据え、自分の将来（就職先）の選択に責任を持つ「自主性」のある姿勢となることが重要である。

そのためにはまず、大学も能動的に学生へ働きかけ4年間を通じて学生の就職（活動）に‘大学が能動的になること’の具体案として‘学生のニーズに合ったツールの活用’が挙げられた。※詳細は後述大学のイノベーションを参照

なお、新たな取り組みを実施する際には講義やゼミを担当している教員の理解を得ることも必要である。そのためにはいかに効果的で学生の利益になるか科学的データを提示する方法が考えられた。

◎私たちE-3班が提案する大学のイノベーション（問題の解決策）

目標：（大学で）高等教育を受けた者として専門性を持ち、自主性をはじめとする高い人間力を有し、企業や社会に貢献できる人材の育成を目指す。

**段階的なキャリア支援**

ステップ1：学生が利用する状況をまずはつくる（1年生～）

□学生にとって身近でありシェアの大きい手段を通じて、就職に関する情報を1年生のうちから配信し、就職活動の意識付けを促す。

例）SNS（Facebook, Twitter など）、マンガ、大学独自のキャラクター

□キャリア支援の一環として、SNS利用をふまえたリテラシー教育や社会人として必要な基礎的なマナー教育に関する科目をカリキュラムに組み込む。

ステップ2：目標をもって学修するように仕向ける

□履修と進路（キャリア）モデルとの繋がりを提示する

興味のある業界や職種を設定すると、そのために今、どの科目の履修が必要かということがわかる機能を設ける。

□e-ポートフォリオの利用

ステップ3：学生が主体的に学ぶように仕向ける

□性格による職業診断チャート

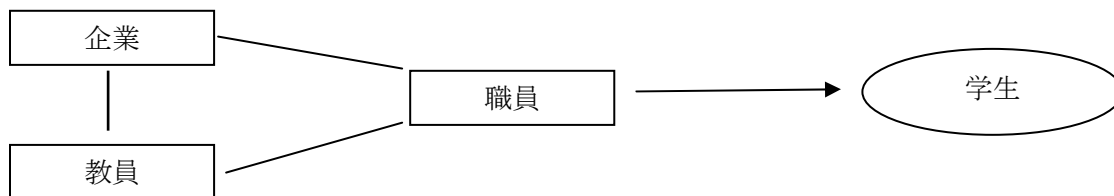
□e-learningの活用等によるいつでもどこでもすぐに学べる環境づくり（主体性を育む）

ステップ4：企業・職員・教員で連携を取り、学生をサポートする

職員としての働きかけは以下のとおり。

□対 企業…企業が求める人材を調査、学内説明会参加への依頼

□対 教員…学生の（就職）状況を調査、教員からゼミ等を通じて学生の現状を把握してもらう



\*すべての働きかけは学生のために\*

以上